05-25-Page 1_Page 1.qxd 16/05/24 23:56 ページ 1

日刊
まにら新聞
The Daily MANILA SHIMBUN
ASIAN INTERNATIONAL COMMUNITY INFORMATION, INC. (Printer-Distributor)
AICI, Manila Shimbun Building, 1037 Teresa Street, Rizal Village, Makati City
Tel. 890-4546 / 890-4745
Fax. 890-3640
P80.00
Since1992 in METRO MANILA
発行 A.I.C.I. Japan
東京都狛江市元和泉2-14-3
©A.I.C.I. Japan 2016
http://www.manila-shimbun.com

Yakult
毎日一本健腸長寿

日本政府、調査に初参加

比残留日本人 国籍回復に弾み

太平洋戦争でフィリピンに取り残された日系2世（比残留日本人）に対する面接調査が24日、ミンダナオ地方ダバオ市で行われ、在比日本大使館員が初めて参加した。

これまで残留日本人の現地調査事業は、日本財団と「比日系人リーガルサポートセンター」（PNLSC）共同の民間主導で進められてきたが、大使館員の初の立ち会いによる日本政府の「お墨付き」を得たことで、残留日本人の国籍回復に弾みがつくと期待される。

面接調査の報告書は日本外務省に提出・保管され、送付嘱託によって就籍申し立ての証拠として提出される。面接対象者10人には、過去に就籍を申し立てたが、証拠不十分で却下された日系2世も含まれている。日本政府の立ち会いで実施された調査の報告書が審理の証拠として提出されることで、就籍の早期許可につながる可能性がある。

比日系人会連合会のイネス・マリャリ会長は24日、マニラ新聞の取材に対し「今回の面接には大使館の参事官も参加してくれた。高齢化した2世に残された時間は少ない。良い結果につながるよう願っている」と述べた。

日系2世の身元調査は日系2世の高齢化に伴い年々困難になってきている。終戦直後、2世の多くは反日感情からの迫害を逃れるために姓を変えたり、日本人の父親とのつながりを隠さざるを得ない環境に置かれた。また戦争のため結婚届などの書類を紛失している2世も多い。

24日に面接を受けたヨネコ・アラカキ・アグランさん(71)は就籍申し立てを却下された経験がある。アラカキさんの日本人父はダバオ市でアバカ麻栽培やココナツ精油業に従事していた。1943年10月、日本人の友人と紹介で知り合った比人女性と結婚。母がアラカキさんを妊娠中に父がゲリラ兵に捕まり拷問を受けて死亡、アラカキさん本人は父を見ることなく育った。アラカキさんは「日本人として認めてもらいたい。親戚と会いたい」と話し、国籍回復に望みをつないだ。

比日系人会連合会代表団は2015年7月に日本を訪問し、安倍晋三首相に日系2世問題の早期解決を求める要望書と2万7948人の署名簿を手渡した。安倍首相は「日本人としてのアイデンティティーを取得したいという思いは当然で、政府としてもしっかり協力させていただきたい」と述べ、代表団の労をねぎらった。

（鈴木貴太郎）

国籍回復に向けた面接を受ける比残留日系2世＝PNLSC提供

マルコス元大統領の遺体、英雄墓地埋葬を受け入れ

ドゥテルテ次期大統領が表明

大統領選を制したドゥテルテ・ダバオ市長は23日夜の記者会見で、故マルコス元大統領の遺体について首都圏タギッグ市の英雄墓地への埋葬を受け入れる考えを明らかにした。これに対し大統領府は、ドゥテルテ氏の意向を尊重するとしながらも、英雄墓地への埋葬に反対するアキノ大統領の意向は変わらないとの立場を強調した。

1989年に死去したマルコス元大統領の遺体はラモス政権下の1993年、亡命先の米国ハワイから北イロコス州バタック市に移送され、現在も冷凍保存されている。息子のマルコス上院議員ら遺族側は英雄墓地への埋葬を求めてきたが、アキノ大統領は、父親のベニグノ元上院議員がマルコス政権下で暗殺されたことなどを理由に「任期中に国軍葬による故マルコス元大統領の遺体埋葬は容認しない」と言明してきた。

コロマ大統領府報道班長は24日、マニラ新聞の取材に対して「ドゥテルテ市長の考えは尊重するが、アキノ大統領の意見は以前から変わっていない」と述べた。

一方、急進左派系市民連合バヤンのレイエス事務局長は「マルコス氏の英雄墓地への埋葬に反対する」との抗議声明を発表。故マカパカル、キリノ元大統領らが埋葬されている英雄墓地に同じようにマルコス氏を埋葬することは「若者たちに間違ったメッセージを与えてしまう」として、ドゥテルテ市長に「結論を急がずに考え直してほしい」と訴えた。

（冨田すみれ子）

技術者ら7人を告発

票不正操作とマルコス陣営

副大統領選で落選が濃厚になったマルコス上院議員陣営は24日、投票集計が不正操作されたとして、投票用紙読み取り機を納入したスマートマティック・インターナショナル社の技術者ら4人と、中央選管IT担当3人の計7人をサイバー犯罪防止法違反容疑でマニラ地検に告発した。

告発状によると、スマートマティック社や中央選管の技術者ら7人は統一選が行われた9日夜、中央選管の正式な許可なしに管理システムを修正した。コンピューターシステムに不正に侵入し、データの消去や書き換えを行った今回の行為は、サイバー犯罪防止法違反に当たるという。

一方、中央選管は一部候補名の表記が文字化けしていたため修正を加えただけで、集計結果には影響は出ていないと釈明している。

マルコス陣営の主張に対し、副大統領選で当選が濃厚となったロブレド下院議員陣営はこのほど、確固たる不正の証拠が提示されていないと批判した。

「3人っ子政策」を検討

ドゥテルテ次期大統領

英字各紙が報道

ブレティンなど英字各紙は24日、大統領選を制したドゥテルテ・ダバオ市長が、一組の夫婦につき出産できる子どもを3人に制限する「3人っ子政策」を検討していると報じた。

報道によると、ミンダナオ地方ダバオ市で報道陣のインタビューに応じた同市長は「すべての家族は子ども3人までが望ましい」との考えを示し、「私はキリスト教徒だが、現実主義者でもある。だから、人口過密には何らかの対策を講じなければならない。教会の意見や信仰には従わない」と述べたという。

同市長は以前から、家族計画などを促進して人口過密に対処する人口抑制法（共和国法10354号、2012年12月成立）の完全実施を支持していた。

英字紙の報道に対し、同法を支持する「人口と開発に関する比議員委員会」（PLCPD）のドンゲト事務局長は「子どもの数や出産の期間は夫婦に決定権がある」と述べ、政府による制度化に反対した。一方で、人口抑制法を支持する同市長の姿勢については期待を寄せた。

バス事故で34人負傷 南カマリネス州

ルソン地方南カマリネス州ピリ町で23日午後、路線バスが道路脇の木にぶつかり横転、乗客と運転手の計34人が負傷した。

国家警察ビコール地方本部の調べによると、バスの運転手がハンドル操作を誤り、道路脇に突っ込んで横転したという。

国軍とNPAが交戦 スルタンクダラット州

ミンダナオ地方スルタンクダラット州で23日夜、国軍とフィリピン共産党の軍事部門、新人民軍（NPA）が交戦し、国軍兵士4人とNPA構成員2人が負傷した。

きょう公式集計開始

正副大統領選

正・副大統領選の公式集計が25日から始まることを受け、上下両院は24日、首都圏ケソン市の下院議事堂で合同議会を開き、集計規則を決定した。

また、両院各7議員の計14議員で構成される両院集計委員会を設置し、委員を選出した。

民間選挙監視団体「責任ある投票のための教区司祭評議会」（PPCRV）の非公式集計によると、大統領選ではドゥテルテ・ダバオ市長が2位と600万票の差を付けて当確となっている一方、副大統領選では1位のロブレド下院議員と2位のマルコス上院議員の差がわずか20万票と僅差。マルコス議員が「不正な票操作が行われている」と批判を展開していることから、公式集計でも波乱が生じる可能性がある。

合同議会は、集計結果に対して異議が出た場合、中央選管に決定権を委ねる方針で合意した。集計は25日午後2時から、下院議事堂で開始される予定。

集計規則や集計委員を決める上下両院の合同議会＝24日午後5時ごろ、首都圏ケソン市の下院議事堂でセレリーナ・モンテ写す

比人漁師を一時拘束 マレーシア海軍

フィリピン人漁師3人が9日、西フィリピン海（南シナ海）のリサール礁（マレーシア名・コモド礁）周辺で操業中、マレーシア海軍に一時、拘束されていたことが24日、分かった。

比国軍によると、漁師3人は9日、リサール礁の南西18カイリ地点で漁をしていたところ、マレーシア海軍の巡視船が同国領海内で違法に操業したとして3人を拘束したという。3人は即日、解放された。

一部の報道によると、3人は巡視船に連行され、殴る蹴るなどの暴行を受けたという。

気象庁が雨期入り発表

気象庁は24日、フィリピン全土が雨期に入ったと発表した。指定された8カ所の観測所で1日の降雨量が過去5日間連続で25ミリ以上に達したため、雨期入りを宣言したもので、昨年に比べ1カ月早い雨期入りとなった。

同庁は今後の予報について、10月までに8～17個の台風が上陸すると予測。史上最悪といわれる干ばつを招き、農作物の収穫に影響を及ぼしたエルニーニョ現象の影響は、7月末まで終わるが、8月から12月にかけてのラニーニャ現象で降雨量が増加し、洪水被害が拡大する恐れがあるとしている。

海水浴の14歳溺死 カビテ州

ルソン地方カビテ州ナイック町のビーチでこのほど、海水浴をしていた少年(14)が溺死し、一緒に溺れた6～7歳の男児2人と、助けようとした37～68歳の男性4人も病院に搬送された。

国家警察によると、22日午後3時半ごろ、海水浴中に溺れた男児たちは同町の住人ではなく、浅瀬から突然深くなる海岸の地形を知らなかったとされる。助けに入った男性4人も、救出中に海の深さが約3メートルのところで溺れ、駆け付けた救急隊員に救助された。7人は付近の病院に搬送されたが、14歳男子は死亡が確認され、他の6人は現在治療中という。

ビガン市で震度4 被害報告なし

24日午前8時ごろ、ルソン地方南イロコス州ビガン市で震度4の地震があった。人的被害の報告はない。

フィリピン火山地震研究所によると、震源地は同州サンタマリア市の北西約8キロで、震源の深さは50キロ。地震の規模を示すマグニチュード（M）は4・9。

「最も偽善的な組織」

ドゥテルテ市長がキリスト教団体批判

大統領選を制したドゥテルテ・ダバオ市長は22日夜、「キリスト教団体は最も偽善的な組織だ」と過激な発言で宗教団体の動きをけん制した。英字紙スタンダードが23日、報じた。

同紙によると、ドゥテルテ氏の選挙運動を支持したプロテスタント系キリスト教関係者が「政府の人事案にわれわれの意見をくみ入れてくれない」と不満を表明したことで、同氏の過激発言につながった。

同氏は、政府人事は自身の考えを最優先すると強調するとともに、「カトリックの神父には、女好きや小児性愛者が大勢いる。社会の規範を象徴しているような振る舞いはやめてくれ」とキリスト教関係者への批判を繰り返した。

同氏の発言を受け、カトリック司教協議会（CBCP）のクルス元議長は「教えを破り罪を犯している関係者がいれば規則に基づき処罰する。小児性愛者がいると主張するなら証拠を提示してほしい」と反論した。

特別捜査班を設置 音楽祭5人死亡で

首都圏パサイ市の商業施設、モール・オブ・アジア（MOA）で開催された野外音楽フェスティバルで22日未明に参加者5人が死亡した件で、首都圏警察は24日、特別捜査班を設置し、死亡者の薬物使用の有無や入手の経緯などを捜査する方針を明らかにした。

首都圏警察によると、特別捜査班は、同南部本部やパサイ署、国家警察犯罪研究所などで構成。併せて国家捜査局（NBI）も捜査に加わり、会場で薬物密売グループがいたかどうかなど事件の解明を急ぐ。

きょうの天気と気温

マニラ	☁/☂	26-33
バギオ	☀/☁	17-24
タガイタイ	☁/☂	23-30
アンヘレス	☁/☂	25-32
セブ	☀/☁	26-33
ダバオ	☀/☁	26-33
カガヤンデオロ	☀/☁	24-32

日の出（マニラ）午前5時26分
日の入り 午後6時20分
24日の気温 最高33.4（午後0時20分）
最低26.0（午前6時）

外国為替（24日）

$1＝P46.920（前日比P0.130安）
＝¥109.54（同¥0.01安、東京）
1万円＝P4,280、$100＝P4,685
（マニラ市の市中両替商調べ）

株価動向

比証券取引所株価指数＝7,356.72
（前日比50.03ポイント△）
東証I部平均株価＝16,498.76円
（同155.84円▼）

トップニュース（24日）

≫副大統領選の票不正操作疑惑でマルコス上院議員、「選挙の公正」侵害に警戒するよう国民に呼び掛け（スタンダード）
≫ドゥテルテ・ダバオ市長、「3人っ子政策」実施に意欲（ブレティンほか）
≫略奪罪などで未決拘置中のアロヨ前大統領、ドゥテルテ市長による恩赦を拒否（スター）
≫カトリック教会関係者、ドゥテルテ市長の3人っ子政策に反発（トリビューン）

大衆紙の話題

別れ話を切り出された男性が自殺
首都圏カロオカン市で23日未明、男性(21)が同居人の女性の前で自らの胸部を拳銃で撃ち、死亡した。調べでは、事件の直前、男女は激しく口論していた。女性が男性に別れ話を切り出したところ、男性は拳銃を持ち出し、女性の目の前で自殺したという。女性は男性を病院に運んだが、搬送先で死亡が確認された。（24日・Pジャーナル）

まにら新聞ウェブ
いつでもどこでも「まにら新聞」を!月額600ペソから
「ウェブ購読」をクリック!!
http://manila-shimbun.com

毎朝食卓で"フィリピン"が読める日刊マニラ新聞
【代表】☎890-4546, 890-4745 Fax. 890-3640【広告部】☎890-8480 Telefax. 895-4245 ☎897-3732
【編集部】☎895-3663, 890-3699 Fax. 890-4395 【顧客サービス】☎895-4159 【セブ営業所】☎(032)343-8911